



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月6日

上場会社名 タキロンシーアイ株式会社
コード番号 4215 URL <https://www.takiron-ci.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6711-3714

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	102,065	7.1	4,122	13.2	4,339	12.8	2,745	5.6
2023年3月期第3四半期	109,832	4.2	4,748	31.6	4,975	31.3	2,907	49.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,230百万円 (6.8%) 2023年3月期第3四半期 3,467百万円 (41.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	28.21	
2023年3月期第3四半期	29.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	150,284	94,486	62.0	956.53
2023年3月期	149,274	92,658	61.1	937.34

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 93,130百万円 2023年3月期 91,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		11.00		4.00	15.00
2024年3月期		11.00			
2024年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	0.2	6,200	7.1	6,300	6.4	5,000	103.2	51.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	97,597,530 株	2023年3月期	97,553,655 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	234,933 株	2023年3月期	271,516 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	97,323,524 株	2023年3月期3Q	97,247,547 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みがみられるものの、社会経済活動の正常化が進み、内需を中心に緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方、エネルギー価格や原材料価格の上昇、世界的な金融引締め、ウクライナ情勢の長期化など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、マンション改修工事の需要が引き続き好調であり、土木関連資材の一部でも需要回復がみられたものの、金融引締め等を背景とした海外市場の低迷の長期化に加えて、前年同期に活況であった半導体市場の減速など予断を許さない状況が続きました。

このような環境のもと、2023年度単年度経営計画の基本方針に沿い、定量計画の必達と定性計画の確実な実行を念頭に事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は102,065百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は4,122百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益は4,339百万円（前年同期比12.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,745百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

次に、事業セグメント別の概況をご報告します。

建築資材事業セグメント

住設建材事業は、原材料価格上昇に伴う製品値上げによる増収効果やサイネージの需要回復がありましたが、新設住宅着工戸数の減少に加え、建設資材や飼料価格の高止まりによる畜産業界の設備投資減少の影響を受け、住宅・非住宅物件への販売が低調に推移し、事業全体では減収となりました。

床・建装事業は、国内マンション改修物件が減少したものの製品値上げ効果もあり、床材の販売は堅調に推移しました。建装資材の販売は主力の欧州市場の低迷が依然として継続していますが、堅調な豪州市場に加え北米や中国の需要も徐々に回復基調となり、事業全体では増収となりました。

その結果、建築資材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は33,472百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は2,228百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

環境資材事業セグメント

アグリ事業は、一部ハウス建設物件での受注は順調に推移しましたが、依然として生産者の更新需要が低調で、国内流通在庫も高水準にあることもあり、出荷量が減少し、減収となりました。

インフラマテリアル事業は、管更生が工事物件遅延の影響により低調に推移しましたが、ハウエル管の需要が回復し、回転成形製品および土木シート・シールドは旺盛な需要により好調を維持したため、事業全体では増収となりました。

その結果、環境資材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は39,903百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は1,116百万円（前年同四半期は66百万円の営業利益）となりました。

高機能材事業セグメント

高機能材事業は、半導体メーカーの在庫調整およびそれに伴う設備投資抑制が一層強まり、製造装置向け工業用プレート、エンプラ材は減収となりました。PC、スマートフォン等の最終製品の需要低迷は、電子回路基板・液晶関連材料向けのナノ材料販売にも影響を及ぼし、前年同期を下回りました。マイクロモータは民生用機器など主要分野における在庫調整が継続し、低調に推移しました。一方、眼鏡フレーム用アセテート板の販売は、国内外のブランドメーカーからの引き合いが引き続き旺盛で堅調に推移しました。

その結果、高機能材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は15,209百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は1,245百万円（前年同期比44.3%減）となりました。

機能フィルム事業セグメント

包材事業は、欧米市場が低調、特に北米市場における流通在庫調整の長期化により北米・南米における生産販売が低水準となり、シュリンクフィルムは大幅な減収となりました。一方、ジッパーテープの国内販売は前年並に推移しましたが、海外販売は欧州をはじめ全般に低調で、減収となりました。

その結果、機能フィルム事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は12,922百万円（前年同期比27.2%減）、営業損失は583百万円（前年同四半期は385百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,009百万円増加し、150,284百万円となりました。これは主に投資有価証券、預け金が減少したものの、現金及び預金、商品及び製品が増加したことによるものです。

一方、負債は、前連結会計年度末より818百万円減少し、55,797百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したものの、電子記録債務、未払法人税等が増加したことによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末より1,828百万円増加し、94,486百万円となりました。自己資本比率は、62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計画に対する進捗は低水準に留まるものの、第4四半期会計期間における当社の施策等を鑑み、2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月2日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,603	9,002
受取手形、売掛金及び契約資産	33,295	30,138
電子記録債権	13,637	16,749
商品及び製品	16,561	17,097
仕掛品	3,540	3,921
原材料及び貯蔵品	8,024	6,917
預け金	16,141	14,842
その他	1,330	1,334
貸倒引当金	△40	△20
流動資産合計	98,095	99,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,352	14,002
機械装置及び運搬具（純額）	9,347	9,446
土地	12,609	12,616
建設仮勘定	997	979
その他（純額）	2,726	2,742
有形固定資産合計	40,033	39,786
無形固定資産		
投資その他の資産	2,755	3,087
投資有価証券	3,036	1,838
繰延税金資産	2,238	2,534
その他	3,116	3,055
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	8,389	7,425
固定資産合計	51,178	50,299
資産合計	149,274	150,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,240	22,697
電子記録債務	5,964	6,674
短期借入金	5,939	5,684
未払法人税等	797	1,631
賞与引当金	1,810	1,115
その他	6,479	7,274
流動負債合計	46,233	45,078
固定負債		
繰延税金負債	682	714
退職給付に係る負債	5,576	5,699
資産除去債務	158	159
製品保証引当金	699	657
その他	3,264	3,487
固定負債合計	10,382	10,718
負債合計	56,615	55,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,204	15,216
資本剰余金	31,034	31,046
利益剰余金	43,003	44,285
自己株式	△170	△146
株主資本合計	89,071	90,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	264
繰延ヘッジ損益	△10	△2
為替換算調整勘定	1,380	1,877
退職給付に係る調整累計額	650	588
その他の包括利益累計額合計	2,114	2,727
非支配株主持分	1,471	1,356
純資産合計	92,658	94,486
負債純資産合計	149,274	150,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	109,832	102,065
売上原価	80,915	74,796
売上総利益	28,916	27,268
販売費及び一般管理費	24,168	23,146
営業利益	4,748	4,122
営業外収益		
受取配当金	110	74
持分法による投資利益	—	29
受取賃貸料	105	105
その他	312	376
営業外収益合計	528	586
営業外費用		
支払利息	75	215
賃貸収入原価	55	56
その他	170	97
営業外費用合計	301	369
経常利益	4,975	4,339
特別利益		
固定資産売却益	5	5
投資有価証券売却益	0	303
関係会社株式売却益	—	41
ゴルフ会員権売却益	—	14
退職給付制度終了益	131	—
関係会社清算益	185	—
特別利益合計	322	364
特別損失		
固定資産処分損	99	16
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	50
事業整理損	—	457
製品保証引当金繰入額	391	—
新型コロナウイルス感染症による損失	140	—
特別損失合計	632	524
税金等調整前四半期純利益	4,665	4,179
法人税等	1,753	1,627
四半期純利益	2,911	2,552
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△193
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,907	2,745

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,911	2,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	170
繰延ヘッジ損益	6	8
為替換算調整勘定	741	563
退職給付に係る調整額	△87	△64
その他の包括利益合計	555	677
四半期包括利益	3,467	3,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,348	3,358
非支配株主に係る四半期包括利益	118	△128

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	34,045	40,021	17,392	17,749	109,209	622	109,832	—	109,832
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	216	122	2,565	18	2,922	1	2,923	△2,923	—
計	34,262	40,143	19,958	17,768	112,132	623	112,755	△2,923	109,832
セグメント利益又は損失(△)	1,977	66	2,234	385	4,663	△128	4,535	212	4,748

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等でありませす。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	33,472	39,903	15,209	12,922	101,508	556	102,065	—	102,065
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	169	118	2,349	14	2,651	2	2,654	△2,654	—
計	33,642	40,022	17,559	12,936	104,160	559	104,719	△2,654	102,065
セグメント利益又は損失(△)	2,228	1,116	1,245	△583	4,007	△142	3,865	257	4,122

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等でありませす。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。